

三島市郷土資料館
開館40周年記念・企画展

三島暦

三島暦で旧暦を読む

平成23年

10/29(土)～12/4(日)

講演会 11/3(祝) 13:30～15:30

「三島暦を楽しむ」

岡田芳朗氏(女子美術大学名誉教授・暦の会会長)
会場:三島市民文化会館 大会議室 事前申込

開館時間 / 9:00～16:30

(10月中は17:00まで)

休館日 / 月曜日(10/31、11/7・14は開館)

入館料 / 無料

(楽寿園入園料大人300円、
小人50円が必要)

三島市郷土資料館

〒411-0036 三島市一番町19-3 楽寿園内

TEL 055-971-8228 FAX 055-981-3730 <http://www.city.mishima.shizuoka.jp/kyoudo/>

三島曆

三島曆で旧曆を読む

企画展会場で同時開催



みしまるくんからの挑戦状 曆クイズに挑戦
プレゼントもあります



みんなで作ろう
「新・七十二候」

©三島市

三島市郷土資料館は昭和46年10月に開館してから40年を迎えます。この間さまざまな展示を通じて三島の文化財を紹介してきました。その中でも三島曆は、三島市の誇る貴重な文化財として位置付けられています。三嶋曆師・河合家から発行されていたその曆は、江戸時代には東海道の名物として全国に名を馳せていたといっても過言ではありません。

そこで今回は三島曆とはどのような歴史をもつものなのか、また、その内容である旧曆とはどのようなものなのかについてご紹介していきます。



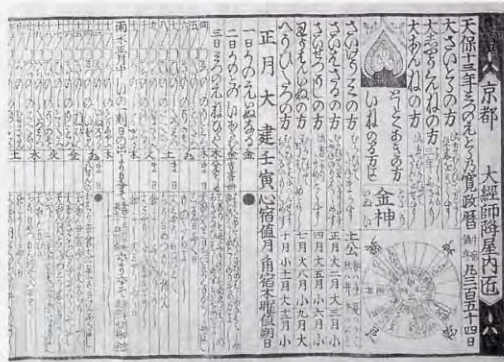
慶応4年(1868) 三島曆

三島曆の歴史



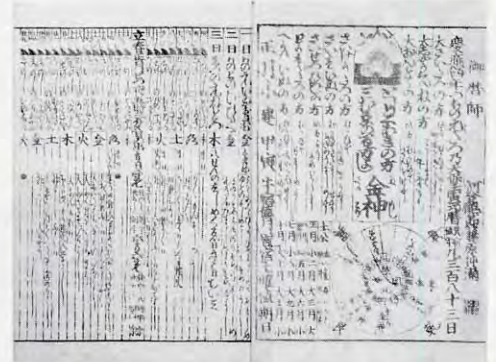
永享3年(1431)
三島曆(複製)

各地の地方曆



天保13年(1842)
京曆

三島曆を読み解く



慶応4年(1868)
三島曆 曆首

三島市郷土資料館

〒411-0036 三島市一番町19-3 楽寿園内

TEL 055-971-8228 FAX 055-981-3730

<http://www.city.mishima.shizuoka.jp/kyoudo/>

ご案内図

- 三島駅(南口)から
徒歩5分
市立公園楽寿園内

三島市
郷土資料館

